

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	メイジ	Lv.1:		レベル	4
サポートクラス	セージ	Lv.1:	セージ	性別	女
称号クラス				年齢	16
種族	フェイ (ナイトメア)			境遇	没落
出自 (効果)	王侯貴族			目標	奪還

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	7	6	7	15	14	16	6
ボーナス	2	2	2	5	4	5	2
クラス修正	0	0	0	2	2	1	1
他修正							
能力値	2	2	2	7	6	6	3

HP	38
MP	68
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手									
左手									
頭部	メイジハット					2			
胴部	メイジローブ					3			
補助									
装身具									
能力値			2	0	2	0	6	8	7
スキル									
その他									
総計(右)			2	0					
総計(左)			2	0	2	5	6	8	7
総計(両)			2	0					m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	6			6	+ 2 d
トラップ解除	2			2	+ 2 d
危険感知	6			6	+ 2 d
エネミー識別	7			7	+ 2 d
アイテム鑑定	7			7	+ 2 d
魔術判定	7			7	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定	2			2	+ d

所持品	
MPポーション	

現在重量: 4
 最大重量: 7
 所持金: 1364
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
フェイ:ナイトメア	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 攻撃の対象に1点でもHPダメージを与えた場合、対象に方針を与える								
マジシャンズマイト	3	-	パッシヴ	-	自身	自動成功		
効果: 魔法攻撃のダメージに+[SLd]する。								
エンサイクロペディア	★	-	セットアップ	-	自身	自動成功		
効果: エネミー識別を行なう								
ファイアボルト	★	6	メジャー	20m	単体	魔術判定		
効果: 対象に魔法攻撃を行なう。その攻撃のダメージは2d+10 (火属性)である								
リゼントメント	★	-	効果参照	-	自身	自動成功	1d+10, 1d	
効果: 魔法攻撃を対象:単体に変更、ダメージに+CL×10する								
コンセントレーション	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 魔術判定に+1dする								
マジックブラスト	2	3	ムーブアクション	-	自身	自動成功		
効果: タイミング:メジャーアクション 対象:単体 分類魔術の対象:単体を対象:範囲 (マジックブラストのSL×2体)に変更する メインプロセス終了まで持続する								
マジックフォージ	2	3	ダメージロール直前	-	自身	自動成功	シーン1回	
効果: 魔法攻撃のダメージに+SI×2d								
ファイアロード	3	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 火属性の魔法攻撃に+SL×4								
オピニオン	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 交渉や説得の精神判定に+1d								
モンスターロア	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: エネミー識別に+1dする								
フックダウン	1	3	クリンナップ	-	自身	自動成功	シーン1回	
効果: 種別:ポーションのアイテムを1個使用する								
インテンション	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 最大MPIに+CLする (バイタリティ取得不可)								
効果:								
効果:								
効果:								

あなたは妖精の王オベロン (レベル75) の娘であるが、彼の妻ティターニア (レベル80) の娘ではない。オベロン、ティターニアの二人がディナシーであることが証拠だ。そう、あなたを生んだを生んだのは一人のナイトメアだ。名前は知らない。しかし王に側室がいることなどの国でも珍しくないことだと妖精の里を出てから知った。

あなたは王族の一人として扱われていたが、王族内ではあまりよい扱いはされなかった。オベロンもあなたと表立って話すことができず、母に関しては行方知れずだ。扱いづらい存在として扱われることとなり、冷遇された。

あなたが13歳のとき、事件が起きた。あなたの母であったナイトメアが、多くの魔族を引き連れ里に攻めてきたのだ。幸いにも死者は最小限で済んだが、結局そのナイトメアは逃走。かの娘であったあなたは裏切り者の子として追放された。当然の処置だ。仕方ないだろうと思った。

しかし扱いづらいなら、最初から作り出さなければよかったのにと思っている。あなたの心に渦巻く闇は、母と父、そして妖精の里に当てられている。その凶暴な復讐心はモンスターを燃やすたびにまだ残っていると実感し、安心する。

あなたの心身は傷ついている。しかしそれを乗り越えたとき、あなたは幸せになれるだろう。それとも——母と同じ道を辿るか？